



長野県森林づくり県民税活用事業

どんどん使おう！信州の木

～信州の木活用モデル地域支援事業の実施状況～

長野県 林務部 信州の木活用課



(街並みモデル)

事業名(年度)	木のぬくもりdeあったか発見事業 (平成25年度)	
事業実施主体	海野町商店街振興組合(上田市)	補助金:2,185千円
協力団体等	上田市大工組合、海野町自治会、海野町小学校PTA	
事業の概要	商店街の木質化(ベンチの製作・設置、パーキングの木塀設置) 親子木工体験の実施	
事業の効果	商店街の訪問客を通じた県産材利用のPR	
事業の特長	・異業種の連携(林業、木材産業、大工、商店) ・木のぬくもりある心地よい空間の提供と商店街の新たな魅力の発信 ・次世代を担う子供たちへの学びの場の提供(木工体験)	



製作・設置されたベンチ(計6基)



駐車場の連絡通路も木質化



秋の産直まつりでの木イベント



公園と駐車場の間に設置された木塀

(街並みモデル)

事業名(年度)	アカマツ松くい虫被害材による景観木工品設置事業 (平成25年度)	
事業実施主体	NPO法人フォレスト工房もくり(上田市)	補助金:2,500千円
協力団体等	上田市、東御市、道の駅「雷電くるみの里」、柳町まちづくり協議会、長野大学、信州大学繊維学部、フォレストライフ協同組合(建具組合)、上田第三木材	
事業の概要	上田市有林・東御市有林からの被害材の搬出、木製ベンチの製作・設置、木製格子フェンスの設置、木製看板製作	
事業の効果	被害材活用と良好な景観形成という川上・川下両者の要望を具現化	
事業の特長	・松くい虫被害材の有効活用 ・落ち着いた街の景観形成への寄与 ・行政、団体、事業者、大学、市民による連携モデルの構築	



柳町蛭沢川沿いの木製格子フェンス(延長50m)



被害材の見学会



道の駅に設置されたベンチ



道の駅に設置されたベンチ(計10基)



上田城址公園に設置されたベンチ(計10基)

事業名(年度)	Wooden Sustainable City Suwa プロジェクト (平成25年度)	
事業実施主体	NPO法人諏訪圏ものづくり推進機構(諏訪市)	補助金:2,500千円
協力団体等	諏訪市、岡谷市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村、 諏訪木材協同組合、諏訪森林組合	
事業の概要	コンテナサイクルステーション(木質のサイクリスト休憩施設)の設置、 サイクルシード/クロスベンチの設置、キックバイクの組み立てワーク ショップの開催、木製フレーム自転車のPR	
事業の効果	観光客年間40万人に対する地域材利用のプロモーション効果	
事業の特長	・地域の木材資源の有効活用による新たな産業の創出 ・SUWAブランドの創出 ・「ものづくり」「たびづくり」「まちづくり」を通じて、産業振興、観光振興、 地域材利用に寄与	



木質のコンテナサイクルステーション(1基)



内装木質化の作業



キックバイク



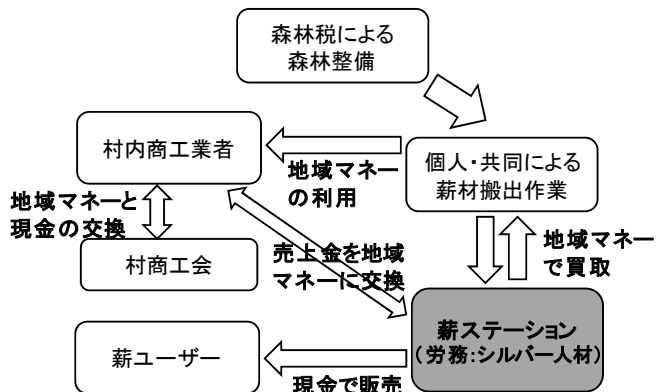
木製フレーム自転車



クロスベンチの設置(計2基)

(バイオマスモデル)

事業名(年度)	生坂村「薪でHOTに！」地域活性化事業 (平成25年度)	
事業実施主体	生坂村	補助金:2,500千円
協力団体等	シルバー人材センター、生坂村商工会(地域マネーの利用)	
事業の概要	自伐林家の薪材搬出システムの構築、地域マネー循環の仕組みづくり、薪ステーションの開設(ストックヤード及び管理棟の整備) 薪割機の導入(1台)、チェーンソーの購入(2台)	
事業の効果	自然エネルギーの地域内利用促進と地域マネーによる村内経済循環	
事業の特長	・村内の未利用木材の有効利用 ・薪の安定供給 ・木材の流通及び村内農林商工業の経済活動の活性化	



整備された薪ステーション



薪割機による薪割り作業



薪用材の搬入状況



生産された薪の山

(街並みモデル)

事業名(年度)	いいやま 木とふれあい推進事業 (平成25年度)
事業実施主体	長野県木材青壮年団体連合会 北信木青連(中野市) 補助金:2,500千円
協力団体等	飯山市、飯山駅周辺自治会、飯山市内みどりの少年団、 いいやま花フェスタ実行委員会
事業の概要	住民との協働により木製モニュメントを製作、木製プランター製作、 木工教室及び出張木育事業の実施
事業の効果	木質化による快適な景観形成と協働作業を通じた木材利用のPR
事業の特長	・H27年春の北陸新幹線開通に向け、飯山駅周辺の木質化を 推進 ・木のある街並みづくりにより寺の町飯山をPR ・地域住民や子供たちとの協働イベントで木材利用をPR



木製モニュメント製作(1基)



完成したモニュメント



花フェスタ木工教室



街並み木質化(プランター 計20基)



子供達の間伐現場見学

(街並みモデル)

事業名(年度)	森の暮らし夢工房創造事業 (平成26年度)	
事業実施主体	長和町商工会(長和町)	補助金:2,500千円
協力団体等	長和町、長和町教育委員会、和田のあしたを考える会、和田宿保存会	
事業の概要	木の良さを展示・PRする「森の暮らし夢工房」の設置、体験交流活動の展開、木製灯籠・プランターの設置、木工製品の開発・普及	
事業の効果	中山道「和田宿」の活性化と訪問客への県産材PR	
事業の特長	・県産材の部材、ベンチ、ミニ樽などを通じて、木の良さを内外にPR ・地域の木材産業との連携による林業・木材産業の振興	



森の暮らし夢工房



木製灯籠



協力団体が開発したミニ樽



夢工房竣工式と同時に開催された木育イベント

(街並みモデル)

事業名(年度)	伊那まち「商店街 木のショールーム」事業 (平成26年度)	
事業実施主体	伊那まちの再生やるじゃん会(伊那市)	補助金:2,500千円
協力団体等	伊那市、坂下商工会、荒井商工会、山寺活性化協議会、いなっせテナント会、ルネッサンス西町の会、こうあ木工舎	
事業の概要	バラの鉢用木製カバーの設置、木製ベンチ・テーブルの設置、木のワークショップの開催	
事業の効果	県産材の魅力発信と商店街の活性化	
事業の特長	・商店街を丸ごと「木のショールーム」化 ・地域住民の参加により地域の主体性を重視 ・木製品の優れたデザイン性を追求	



鉢カバーのプロトタイプ(伊那産アカマツ)



木のワークショップ実施状況



同じ部材でテーブルやベンチも製作可能



塗装バージョンも人気

(販売促進モデル)

事業名(年度)	根羽スギ温泉施設等活用事業 (平成26年度)	
事業実施主体	根羽村	補助金:2,500千円
協力団体等	根羽村商工会、シルバー人材センター、矢作川流域圏懇談会、根羽村森林組合、根羽小中学校、木工部隊スギダラ、中房温泉、木の駅プロジェクト構成員、豊田市、日本全国スギダラケ倶楽部	
事業の概要	根羽スギを用いた足湯、薪露天風呂等の商品開発及びモニター調査	
事業の効果	地域材の利用促進・販路拡大と地域林業の活性化	
事業の特長	・村をあげての取組の展開 ・提案商品のストーリー性・デザイン性とインパクト ・流域等を巻き込んだ取組による村外へのPR	



どこでも足湯



どこでもブランコ



温泉(家族風呂)



どこでも展示用ボード



どこでもオセロ



どこでも曲げわっぱ体験

(バイオマスモデル)

事業名(年度)	山のお宝ステーション事業 (平成26年度)	
事業実施主体	塩尻市振興公社	補助金:2,500千円
協力団体等	塩尻市、松本広域森林組合、市内3財産区、12林野組合、(株)DLD	
事業の概要	薪ステーションの整備、計測・買取・販売の仕組みの構築、運搬用トラック及びトラクターの購入	
事業の効果	自伐林家による小規模林業の推進	
事業の特長	・安全講習会等による自伐林家や団体有林関係者の育成の取組 ・市と連携し、市内全域へ取組の拡大を図る ・信州F・POWERプロジェクトの連動	



整備された薪ステーションでの作業状況



薪割り作業



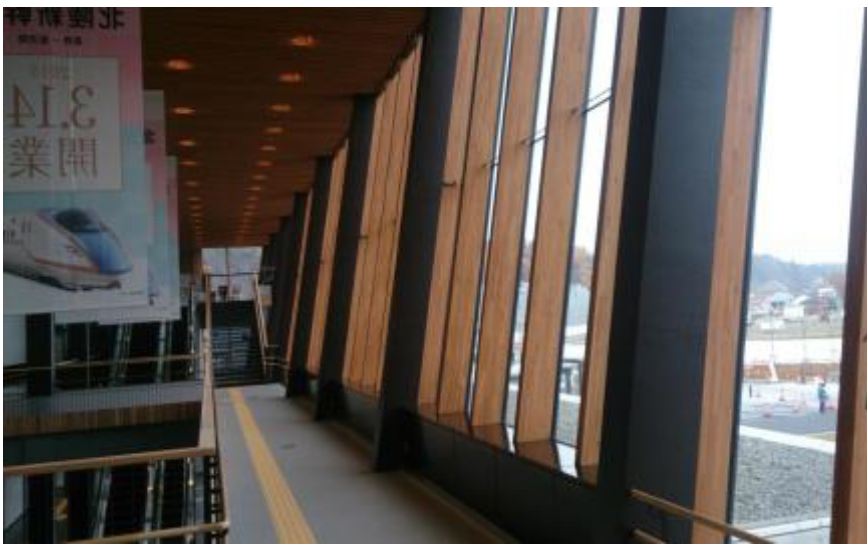
続々集まる薪用材を積んだ軽トラ



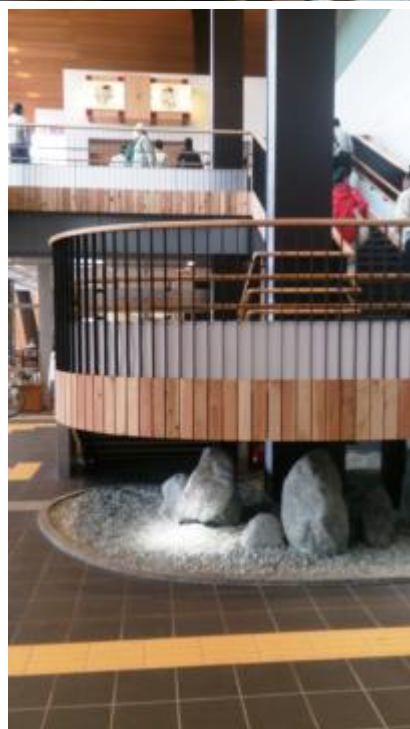
ステーションに積み上げられた薪用材

(街並みモデル)

事業名(年度)	木質化・木育地域貢献事業 (平成26年度)
事業実施主体	長野県木材青壮年団体連合会 北信木青連(中野市) 補助金:2,500千円
協力団体等	飯山市、地元自治会、木製品デザイナー
事業の概要	新飯山駅構内アトリウムの回遊通路及び展望スペースの木質化、山岳高原リゾートアクティブセンター内の壁面木質化、木工教室の開催
事業の効果	新飯山駅のオープンに合わせた木材利用に対する意識の高揚
事業の特長	<ul style="list-style-type: none">・新駅木質化工事との相乗効果と優れたデザインによる訴求力の向上・木育を併せて実施することによる青少年育成に寄与・新幹線開通に対する周辺住民の気運の醸成に寄与



木育イベントで市民の皆さんが設置作業



木質化された新飯山駅アトリウム内

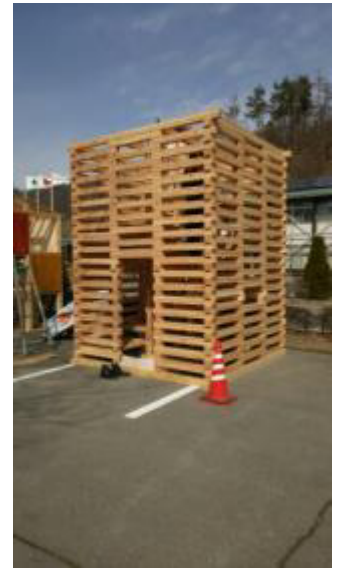


(販売促進モデル)

事業名(年度)	体験型地域材利用ミニチュアハウス「木の家」推進事業 (平成27年度)	
事業実施主体	長野県木材青壮年団体連合会東信木青連上小支部(上田市)	補助金:2,500千円
協力団体等	-	
事業の概要	県産材を活用したミニチュアハウスの展示等による地域材PR	
事業の効果	2種類の木構造(在来・組積工法)の「見える化」効果による学習機会の創出	
事業の特長	・機動性を活かした躯体で各地でのPRを展開	



在来工法(左) と組積造(右)でミニチュアハウスを製作



「真田三代戦国歴史検定」の会場での展示状況



(バイオマスモデル)

事業名(年度)	茅野市「市民の森」吉田山の間伐材有効活用事業 (平成27年度)	
事業実施主体	NPO法人八ヶ岳森林文化の会(茅野市)	補助金:1,354千円
協力団体等	茅野市役所、市民の森を創る会(吉田山管理団体)	
事業の概要	関連資機材の導入、薪づくり講習会及びチェーンソークラフト講習会の開催、ウッドチップパーによる散策路整備、簡易製材機による製材研修	
事業の効果	参加者の各種技術の向上に寄与	
事業の特長	・未利用間伐材の多角的な有効活用策の確保	



製作したチェーンソークラフトを前に記念撮影



薪づくり講習会



チェーンソークラフト製作



移動式チップパーによる散策路の整備

(販売促進モデル)

事業名(年度)	伊那市次代へ繋ぐハッピーエンドプロジェクト事業 (平成27年度)	
事業実施主体	伊那市地域材利活用研究会(伊那市)	補助金:2,500千円
協力団体等	上伊那木材協同組合、上伊那森林組合、ウッドフォーラム伊那、伊那葬祭業組合、伊那ワイン工房、伊那市	
事業の概要	棺の製作(試作)、ワイン樽・桶の製作研究	
事業の効果	様々な製品への地域材利活用の推進	
事業の特長	・葬儀業組合、ワイン工房等といった異業種との連携による事業効果	



関係者による打合せ状況



ワイン樽製作に向けた視察を実施(愛知県)



伊那市役所にて棺桶のお披露目



林野庁長官も棺桶を見学(全国木育サミット)

(販売促進モデル)

事業名(年度)	木のおもちゃと流域ものさし製作事業 (平成27年度)	
事業実施主体	根羽村	補助金:2,500千円
協力団体等	根羽村森林組合、愛知教育大学、根羽村商工会、シルバー人材センター、根羽小学校、矢作川流域圏懇談会、安城市大工組合、愛知県豊田市、愛知県安城市、フリーペーパー「耕ライフ」、デザイナー小粥千寿等	
事業の概要	動く木のおもちゃの開発、木工工作体験、各種イベントでの展示	
事業の効果	開発したおもちゃの販路開拓、下流域との新たな連携の構築	
事業の特長	・矢作川下流域との連携による取組 ・オリジナル性の高い商品の開発	



矢作川下流域の住民との交流イベントに木製おもちゃを展覧



地域材を利用して開発した流域ものさし



音の鳴るおもちゃは子供たちに大人気



木工工作体験の様子



休憩スペースにおかれた各種おもちゃ

事業名(年度)	簡易製材機等を活用した間伐材の多角的活用基盤整備事業(平成27年度)
事業実施主体	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師 (飯田市) 補助金:2,500千円
協力団体等	飯田市、地元自治会、森林所有者、飯伊森林組合、飯伊木材協同組合、建築士会飯伊支部、林業機械・木質資源利用ストーブ・木工製品取扱い事業者、根羽村森林組合、市民活動団体等
事業の概要	廃豚舎を活用した間伐材の集積・保管加工施設の整備、耳付き板材を利用した木工工芸品づくりと板材の販路開拓
事業の効果	地域で生産される間伐材の有効活用
事業の特長	・クラフト事業者や民芸品店等との新たな事業の展開



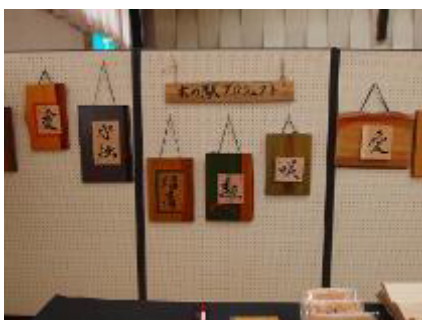
廃豚舎を活用し整備した施設



間伐材の活用のため導入された移動式製材機



イベントの開催では多くの人でにぎわった



書道家とコラボした木製品の展示



移動式製材機による板材生産状況

(街並みモデル)

事業名(年度)	木曾の木でつながる～ふるさと交流事業 (平成27年度)	
事業実施主体	NPO法人ふるさと交流木曾(木曾町)	補助金:2,500千円
協力団体等	木曾青峰高等学校、長野県林業大学校、上松技術専門校、黒川林野農協、黒川ふるさとづくり推進協議会	
事業の概要	公募によるテーブルセットの製作、端材を利用したおもちゃ製作	
事業の効果	家具の製作を通じた地域内交流の促進	
事業の特長	・デザインの公募によるデザイン性の高い商品の追及 ・教育機関との連携による人材育成への寄与	



椅子のデザインについてメンバー打合せ



ワークショップにおける住民参加の組立作業



公募によりデザインが決まったベンチ



子どもと大人と一緒に椅子の作製体験

(販売促進モデル)

事業名(年度)	アカマツ再活用促進事業 (平成27年度)	
事業実施主体	あづみの再活の松プロジェクト(安曇野市)	補助金:2,500千円
協力団体等	明北小学校、国営アルプスあづみの公園、道の駅・旬の味ほりがね物産センター	
事業の概要	松くい虫被害材の有効活用(バス停の木質化、パネル・ベンチ等の製作)	
事業の効果	松くい虫被害に対する市民意識の高揚、被害材を活用した製品の開発	
事業の特長	・地域課題の周知と被害材の有効活用を連動させることによる相乗効果	



住民参加のワークショップの開催



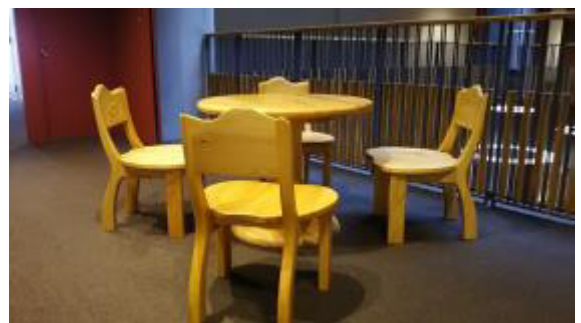
バス停の木質化(着工前)



バス停の木質化(完成)



被害材を活用した箱の開発



安曇野市役所でのPR



物産センターで利用され始めた木箱



休憩スペースに設置されたベンチ

(街並みモデル)

事業名(年度)	北信州杉木育プロジェクト事業 (平成27年度)	
事業実施主体	NPO法人北信州の森林と家をつなぐ会(飯山市)	補助金:2,500千円
協力団体等	飯山市、いいやま若者会議	
事業の概要	地域のスギ材を活用したベンチ及び屋台の製作、イベントにおける屋台の出展	
事業の効果	地域材に関する学習機会の創出	
事業の特長	・地域の各種イベントと連携したPRの実施	



地元製材工場で挽かれた根曲リスギ



整備されたベンチ



住民参加イベントにおける屋台組立体験



屋台を活用したイベント



森林関係イベントで紹介される屋台